



2027年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社ジェイエスエス
コード番号 6074 URL <https://www.jss-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 藤木 孝夫
(氏名) 濱治 雅弘

TEL 06-6449-6121

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,055	△0.3	67	140.0	63	177.3	40	196.8
2026年3月期第1四半期	2,062	5.4	28	△35.8	23	△51.0	13	△55.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 44百万円 (200.7%) 2026年3月期第1四半期 14百万円 (△51.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	10.01	—
2026年3月期第1四半期	3.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,090	3,180	44.9
2026年3月期	7,340	3,182	43.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 3,180百万円 2026年3月期 3,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		10.50	—	10.50	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の連結業績予想（2026年 4月 1日～2027年 3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,668	1.5	465	7.3	458	7.3	290	19.7
								72.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	4,026,056 株	2026年3月期	4,026,056 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	403 株	2026年3月期	403 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	4,025,653 株	2026年3月期1Q	4,025,653 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期の経営成績の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続やエネルギー価格の動向、海外経済の不確実性等の影響により、個人消費には依然として慎重な姿勢も見られ、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「水を通じて健康づくりに貢献する」という経営理念に基づき、地域社会における健康増進と生涯スポーツの普及に取り組んでまいりました。子供から高齢者まで幅広い世代に対し、安全かつ質の高い指導サービスを提供するとともに、顧客満足度の向上と事業基盤の強化に努めてまいりました。

会員募集施策につきましては、春の入会キャンペーンや体験会、春季短期教室の実施などにより新規会員の獲得を推進いたしました。当社グループが長年培ってきた指導ノウハウや教育サービスの魅力を積極的に訴求し、会員基盤の拡充に取り組んでまいりました。

水泳授業受託事業におきましては、学校プール施設の老朽化や施設維持管理コストの増加、専門指導者不足などを背景として、自治体による民間委託の需要が引き続き高まっております。当社グループは、長年培ってきた水泳指導の実績とノウハウを活かし、学校や自治体からの要請に積極的に対応するとともに、安全性と教育効果の高い指導サービスの提供に努めてまいりました。

選手強化面におきましては、2026年6月開催の第102回日本選手権水泳競技大会において、木村瞬弥選手（J S S・近畿大学）が男子200m平泳ぎで3位入賞を果たしたほか、大蔵礼生選手（J S S・近畿大学）が男子100m平泳ぎで4位、男子50m平泳ぎで4位、由良柁貴選手（J S S東京）が男子50m背泳ぎで5位、難波実夢選手（J S S東京）が女子400m自由形で6位に入賞するなど、当社グループ所属選手が国内最高峰の舞台で活躍いたしました。

日本テレビホールディングス株式会社との業務提携の状況につきましては、同社100%子会社である株式会社ティップネス（以下「ティップネス」）との協業を推進しておりますが、2026年7月22日付で「FASTGYM24」名古屋市市内3店舗の事業譲受に関する基本合意書を締結するなど、その取り組みは新たな段階へ進展しております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項(重要な後発事象)」をご参照ください。

引き続き両社のノウハウ・経営資源を持ち寄ることで、両社の企業価値向上に資する効果的なシナジーの創出に取り組んでおり、当第1四半期連結累計期間においては以下の施策を進めてまいりました。

<ティップネスとの主な協業内容>

○「地域から水難事故を0（ゼロ）に！着衣水泳体験会」の開催

当社とティップネスは、子どもたちの水難事故防止を目的として、命を守る合言葉である「ういてまて」の普及に取り組んでおります。両社が共同開発したプログラムの活用や今後の体験会開催に向けた準備を進めるなど、地域社会における安全教育の推進に取り組んでまいりました。

○オンラインフィットネス配信サービス「トルチャ」の提供

ティップネスが持つオンラインフィットネス配信サービス「トルチャ」を当社会員およびその家族向けに提供し、顧客満足度向上とコロナ禍における施設に頼らない収益確保策の一つとしました。

○J S Sキッズファミリープラン

両社が近隣に商圏を持つ事業所において当社子供会員の家族が割引価格でティップネスの事業所を利用出来る「J S Sキッズファミリープラン」を設定し、顧客満足度向上につながるものとなりました。

○協業会議および分科会の定期開催

当社とティップネスとの情報交換の機会として、協業会議および各業務、テーマに沿ったより細分的な会議体としての分科会を実施しております。

このような営業施策を進めた結果、会員動向につきましては、少子化の進行やライフスタイルの多様化など市場環境の変化が続くなか、新たな需要の創出と既存会員の定着に向けた取り組みを推進してまいりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末における当社グループの会員数は75,849人（前年同期比6.9%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,055百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益67百万円（前年同期比140.0%増）、経常利益63百万円（前年同期比177.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円（前年同期比196.8%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ250百万円減少し、7,090百万円となりました。これは主に、現金及び預金が253百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ248百万円減少し、3,909百万円となりました。これは主に、長期借入金が141百万円減少、未払法人税等が118百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、3,180百万円となりました。これは主に、利益剰余金が5百万円減少したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月14日に公表しました連結業績予想から修正を行っておりません。

なお、2026年7月23日公表の「株式会社ティップネスとの事業譲受に関する基本合意書締結のお知らせ」に記載の事業譲受による業績への影響は現時点で精査中であり、今後修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,132,065	878,988
売掛金	103,307	134,434
商品	157,012	168,892
その他	144,569	141,551
貸倒引当金	△1,475	△1,873
流動資産合計	1,535,479	1,321,994
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,800,057	2,778,921
土地	1,866,691	1,866,691
その他（純額）	50,935	61,873
有形固定資産合計	4,717,683	4,707,485
無形固定資産		
のれん	22,050	21,168
その他	46,739	44,070
無形固定資産合計	68,790	65,239
投資その他の資産		
敷金及び保証金	709,323	708,090
繰延税金資産	165,553	147,815
その他	157,807	153,327
貸倒引当金	△14,392	△13,773
投資その他の資産合計	1,018,291	995,460
固定資産合計	5,804,765	5,768,185
資産合計	7,340,245	7,090,179
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	101,456	136,269
短期借入金	330,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	601,807	590,046
未払法人税等	135,252	16,896
未払消費税等	92,582	109,477
前受金	544,487	564,590
賞与引当金	99,501	5,697
その他	599,082	624,551
流動負債合計	2,504,169	2,377,529
固定負債		
長期借入金	1,084,401	943,110
退職給付に係る負債	43,398	42,081
資産除去債務	404,445	405,727
繰延税金負債	44,402	53,693
その他	76,703	87,262
固定負債合計	1,653,351	1,531,874
負債合計	4,157,521	3,909,404

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,729	330,729
資本剰余金	125,665	125,665
利益剰余金	2,759,564	2,753,651
自己株式	△45,569	△45,569
株主資本合計	3,170,389	3,164,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,334	16,298
その他の包括利益累計額合計	12,334	16,298
純資産合計	3,182,723	3,180,774
負債純資産合計	7,340,245	7,090,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,062,407	2,055,205
売上原価	1,770,685	1,721,497
売上総利益	291,722	333,707
販売費及び一般管理費	263,548	266,083
営業利益	28,173	67,624
営業外収益		
受取利息	108	101
貸倒引当金戻入額	181	225
電力販売収益	1,268	1,325
受取保険金及び配当金	—	779
その他	1,148	1,062
営業外収益合計	2,707	3,494
営業外費用		
支払利息	5,443	5,283
その他	2,418	2,014
営業外費用合計	7,862	7,298
経常利益	23,018	63,820
特別損失		
固定資産除却損	269	0
特別損失合計	269	0
税金等調整前四半期純利益	22,749	63,820
法人税、住民税及び事業税	3,435	3,505
法人税等調整額	5,738	20,018
法人税等合計	9,173	23,524
四半期純利益	13,576	40,295
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,576	40,295

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	13,576	40,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,142	3,963
その他の包括利益合計	1,142	3,963
四半期包括利益	14,718	44,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,718	44,259

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはスイミングスクール運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	61,657千円	59,955千円
のれんの償却額	882千円	882千円

(重要な後発事象)

当社は2026年7月22日開催の取締役会において、株式会社ティップネスが運営する「FASTGYM24」名古屋市内3店舗に係る事業を譲り受けることに関する基本合意書の締結を決議し、同日付で締結いたしました。

なお、本基本合意書は事業譲受に関する基本的事項について合意したものであり、事業譲渡契約の締結及び事業譲受の実行は今後の協議等を前提としております。

本件事業譲受は企業結合会計基準上の「取得」に該当する見込みですが、取得原価、取得資産及び引受負債の内容並びにのれんの金額については現時点で未確定であります。

なお、本件の詳細につきましては、2026年7月23日公表の「株式会社ティップネスとの事業譲受に関する基本合意書締結のお知らせ」をご参照ください。